



覇 志

西門川中学校だより 第14号

令和元年11月15日発行

文責 校長 後藤 直樹

村上三絃道 感動のコンサート！

10月25日(金) なかよし運動会・交流会がありました。本校からは2名の生徒が参加しました。二人とも一生懸命に競技に参加していました。とても楽しそうでした。

その日の午後から村上三絃道の公演がありました。三味線と太鼓、笛の演奏に会場にいるすべての人々が引き込まれていきました。また、三味線の体験コーナーがあったり、みんなでばんば踊りを踊ったりと日本の伝統芸能を楽しく学ぶことができました。

10月29日(火) 小中合同クリーンアップ作戦がありました。天気が心配されましたが、午後から回復し実施することができました。小中合同の3班に分かれ活性化センター、上井野公民館、川内神社の清掃に汗を流しました。

10月30日(水) 生徒会役員選挙立会演説会と投票がありました。本校最後の生徒会役員選挙となりました。立候補した二人とも頼もしくどちらが生徒会長になっても任せられると確信しました。

11月2日(土) 町こども俳句大会の表彰式が行われました。本校からは、3年生が秀逸(1名)、入選(2名)を受賞しました。

11月3日(日) 第43回県中学校秋季体育大会が県武道場で行われました。本校からは、柔道競技に2名の生徒が出場し、一人は善戦しましたが、初戦敗退、もう一人は3位入賞でした。どちらも素晴らしい戦いでした。



三絃道のみなさんと児童生徒との記念撮影です。



柔道部は西門川中学校最後の県大会出場の部活となりました。2人とも最後にふさわしい手に汗握る熱戦を演じてくれました。2人にとって一生の思い出に残る1ページになったことでしょう。



ぼくは、先輩たちの活躍を見てきた。自分はこの学校をもっとよくしたい。本校の良いところは、ここでしか体験できない行事があることだ。水辺調査やしめ縄など、できればもっと増やしたい。

日頃のあいさつをもっとしっかりさせたい。立ち止まりあいさつや大きな声での返事など課題がある。本校の伝統を守りながらよりよいものに変えていきたい。



表彰式には2名の生徒が出席しました。もう1名は、都合により出席できませんでした。



ぼくは、消極的な自分を変えたいと思った。そのことで勇気付けられる人もいるだろう。今までの生徒会活動の経験で得たものを生かして、閉校までの5ヶ月を生徒会長として活動したい。

全校生徒と西門川中でよかったと言える学校をつくりたい。例えば昼休みにレクリエーションをするなど笑顔の絶えない楽しい学校づくりに励みたい。

【11月後半のスケジュール】

- 11月18日(月) 小中合同避難訓練(火災)
- 19日(火) 読み聞かせ
- 20日(水) 全校集会
- 21日(木) 花壇学習
- 26日(火) 期末テスト
- 27日(水) 期末テスト 学級・全校専門委員会
3年三者面談(～12月3日)
- 28日(木) 長距離走試走
- 29日(金) 門高学習成果発表会
家庭教育学級(食育)

《編集後記》 生徒会の役員が決まりました。残り少ない任期ですが、きっとやり遂げてくれるでしょう。頼もしい限りです。草むしりしていると様々なことに気付かされます。それぞれが生き残るための工夫があるのです。引っ張ると一部だけが抜けるもの、根っこが横に広がっているもの、地下で根っこ同士がつながっているものなど自然の造形の巧みに驚かされます。元ソフトテニス部の生徒が、まだ草の残るコートで楽しくボールを打ち合っている姿を見ると、疲れもどこかへ飛んできそうです。